

三浦建設工業株式会社 脱炭素経営の取り組み

WE'VE SET A SCIENCE-BASED TARGET SME pathway



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

- 事業紹介
- 脱炭素経営取り組みのきっかけ
- 現状分析
- 課題の設定
- 取り組み①【省エネ】
- 取り組み②【再エネ】
- 取り組み③【計画】
- 効果
- 今後の取り組み
- ロードマップ

基本情報

社名	三浦建設工業株式会社
創業	1916年（大正5年）
設立	1953年（昭和28年）
代表者	代表取締役 三浦 隆宏
従業員数	97名
売上高	60億円

敷地面積	88,913m ²
内：工場建屋面積	14,126m ²
内：製品ヤード面積	16,975m ²
内：材料ヤード面積	945m ²



① 建築鉄骨製造業



② 総合建設業





エネルギーコストの上昇



サプライチェーンでの環境対応



競合他社に対する
優位性の構築

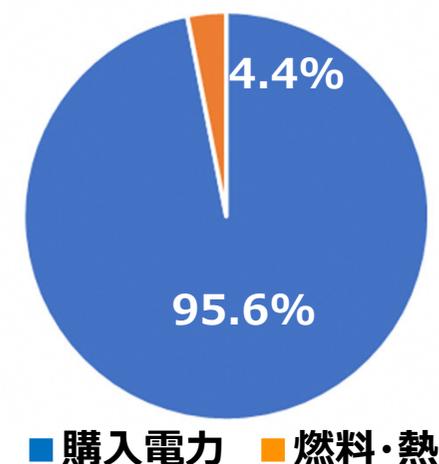
省エネ最適化診断の活用

【目的】

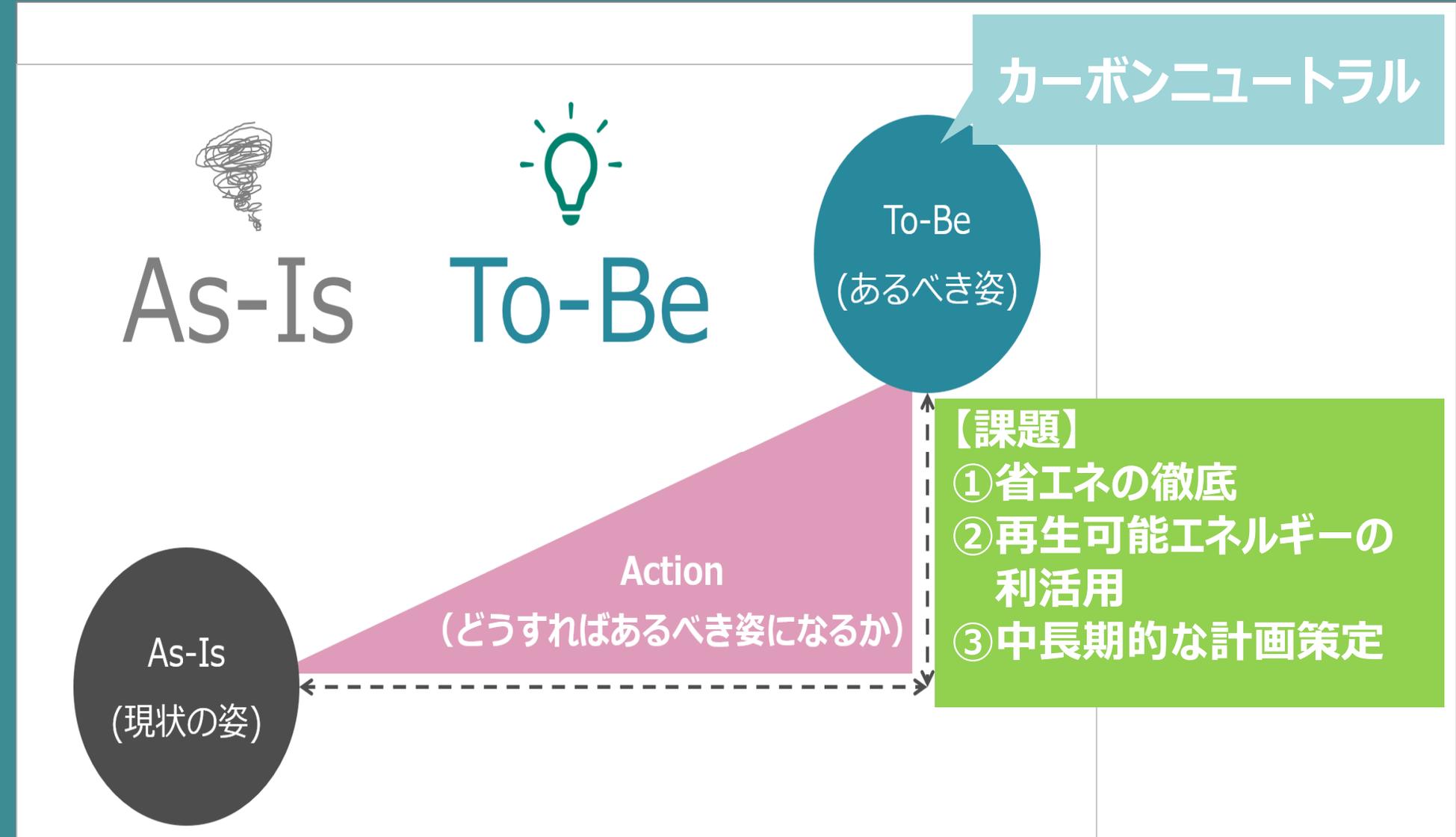
- エネルギー使用状況の把握
- CO₂ 排出量の把握
- 省エネポテンシャルの提案
- 省エネに関する理解を深める

2021年度	エネルギー使用量			エネルギー 費 [千円]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
	[kL]	[GJ]	割合[%]		
購入電力	272.6	10,566	96.9	25,011	504
燃料・熱	8.8	339	3.1	897	23
小計	281.4	10,905	100.0	25,908	527
用水	—	—	—	18	—
合計	281.4	10,905	100.0	25,926	527

CO₂排出量割合



あるべき姿と課題の抽出



① 工場照明のメタハラランプからLEDへの更新

【取り組み概要】

工場内照明 114台
工場外灯 10台



全てLEDに更新

※青森県省エネ高効率化補助金活用

【効果】

電力削減量	76,175 kWh/年
CO2削減量	37.8 t/年
削減電気料金	2,096,335 円/年



②トッランナー変圧器への統合更新

【取り組み概要】

- ・省エネ機能の高いトッランナー変圧器に更新
- ・工作機械用の変圧器を5台から2台に統合

※青森県省エネ高効率化補助金活用

【効果】

電力削減量	24,571 kWh/年
CO2削減量	12.2 t/年
削減電気料金	676,194 円/年



その他の取り組み

- エコアクション 21 の認証取得
- 設備の運用改善
 - ・トイレパネルヒーターの設定温度緩和
 - ・浄化槽ブロアの間欠運転
 - ・複合機の省エネモード活用
 - ・空調機の未使用期間の電源遮断 他
- 省エネ機能が高いコンプレッサへの統合更新
- 省エネ性能が高い生産設備への更新
- 電気自動車の導入
- EV用急速充電機の導入



完全自家消費型太陽光発電設備の導入

【スペック】

太陽光パネル枚数	1,128枚
パネル発電容量	423kW
パワコン容量	400kW
年間発電量 (23年4月～24年3月実績値)	269,642kWh



【特徴】

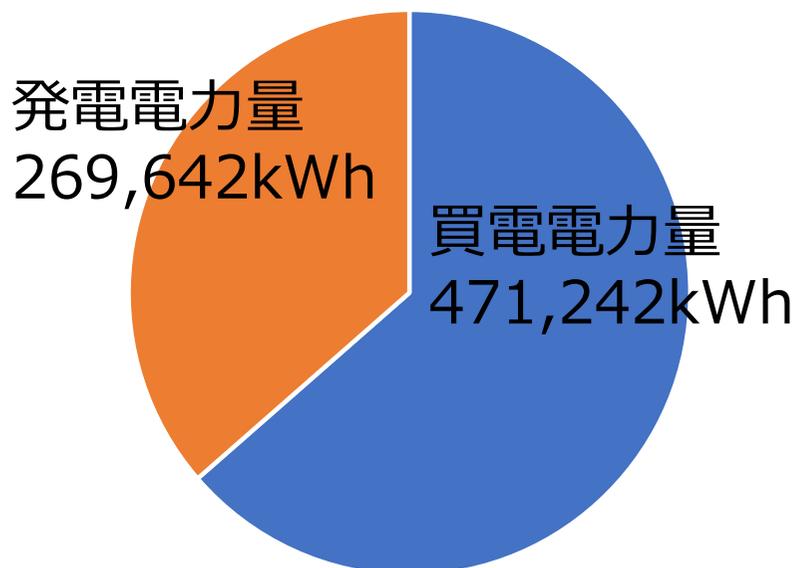
- ① 着雪・積雪対策として、パネルの傾斜角度を30°、最低地上高を1.2mに設定
- ② 自動出力制御システム及び遠隔監視システムを導入し、効率的な発電を実現
- ③ パネル、パワコン等すべて国産の部材で構成し、長期的な利用が見込める
- ④ 事業所内の遊休地に設置しており、土地の有効活用が可能であり、工場の屋根への設置に比べて、発電効率が高く保守管理も容易

太陽光発電設備の効果

消費電力内訳

※23年4月～24年3月実績値

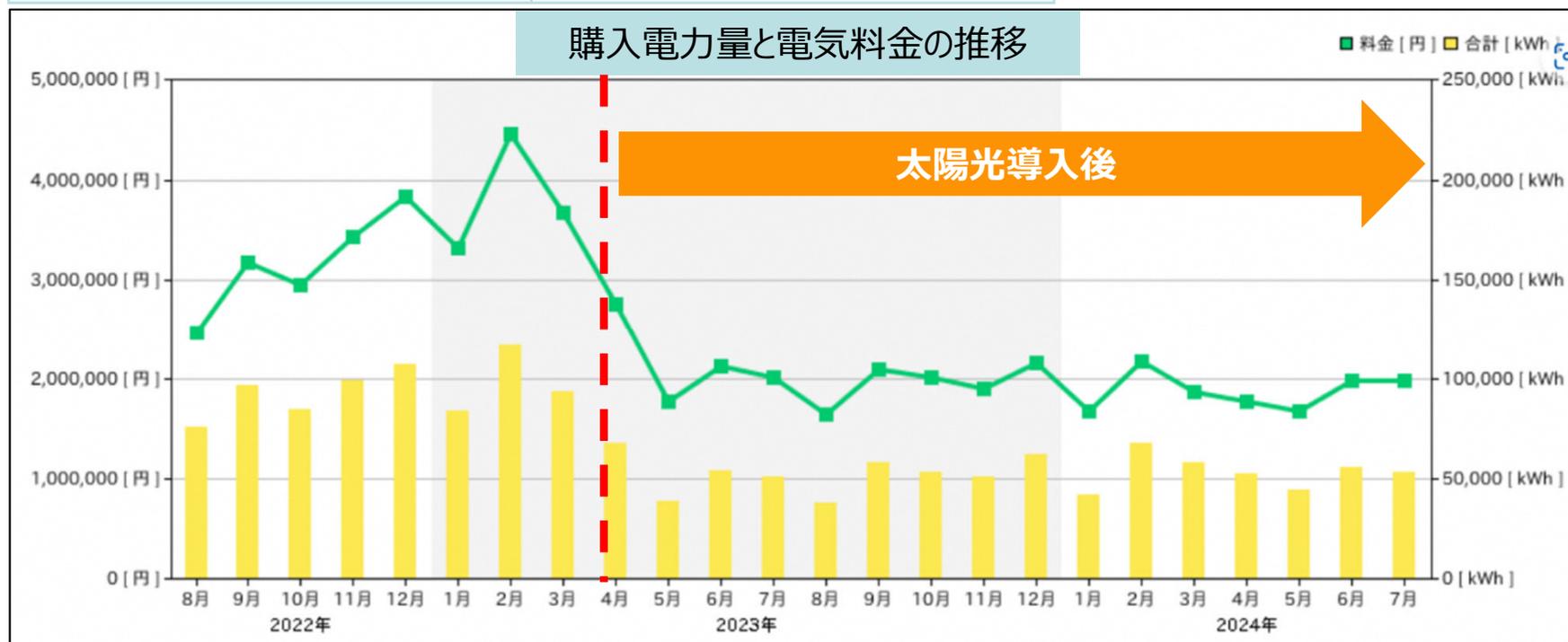
合計消費電力量
740,884kWh



消費電力の**36.4%**
を再生可能エネルギー
で賄っている

太陽光発電設備の効果

電力削減量	269,642.07 kWh/年
CO2削減量	133.74 t/年
削減電気料金	6,714,086 円/年



中小企業版SBTの認証取得

【中小企業版SBT (Science Based Targets)】

- 2030年を目標年とする温室効果ガスの排出削減目標
- 対象：Scope1、2の排出量
- 削減目標：1.5°C = 少なくとも年4.2%のCO2排出量削減

【SBT認証】

パリ協定と整合性のある温室効果ガス排出削減目標を立てている企業であることを示す国際認証



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

中小企業版SBTの認証取得

【認証取得の流れ】

- ① 自社のCO2排出量の把握
 - ② 基準年度の設定
 - ③ 目標申請
- (1) 目標申請 (2) 調査・目標承認 (3) 請求書発行・支払
 (4) 支払確認・目標確認 (5) 目標の公表

The screenshot shows a web interface for 'Target dashboard' for 'MIURA KENSETSU'. It includes a table of targets and a summary box.

COMPANY/FINANCIAL INSTITUTION	TARGETS			ORGANIZATION TYPE	View more
	NEAR TERM	LONG TERM	NET-ZERO		
Miura Kensetsu Kogyo Co., Ltd. Japan, Asia	1.5°C	-	-	Small or Medium Enterprise	View more

Summary

1 Total no. of companies	1 Companies with approved targets
------------------------------------	---

削減効果

2021年比CO2排出量 **51.2% (270t-CO2/年)** 削減

(杉の木の植樹本数に換算すると約 19,000本に相当)

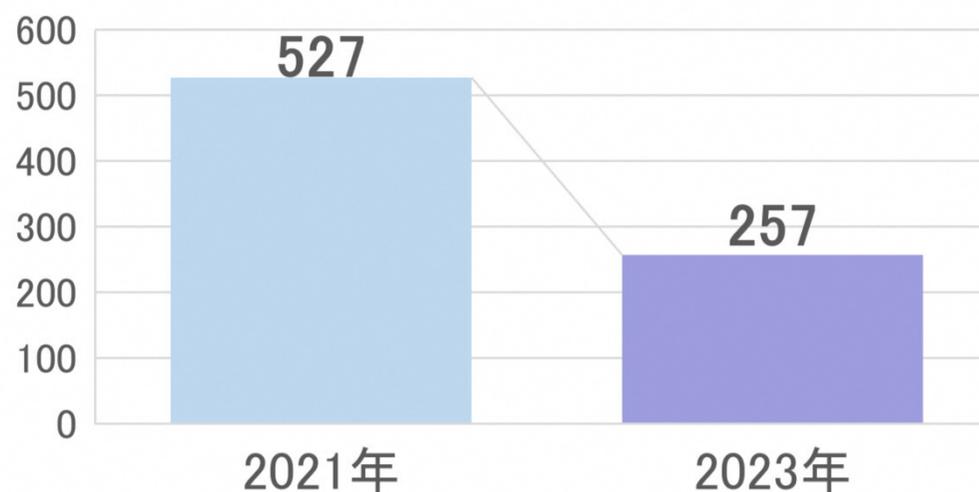
■ 効果内訳

①省エネの徹底 **25.8%** (136t-CO2/年) 削減

(工場LED化 37.8t、変圧器更新 12.2t 他)

②再エネの活用 **25.4%** (134t-CO2/年) 削減

CO2排出量比較

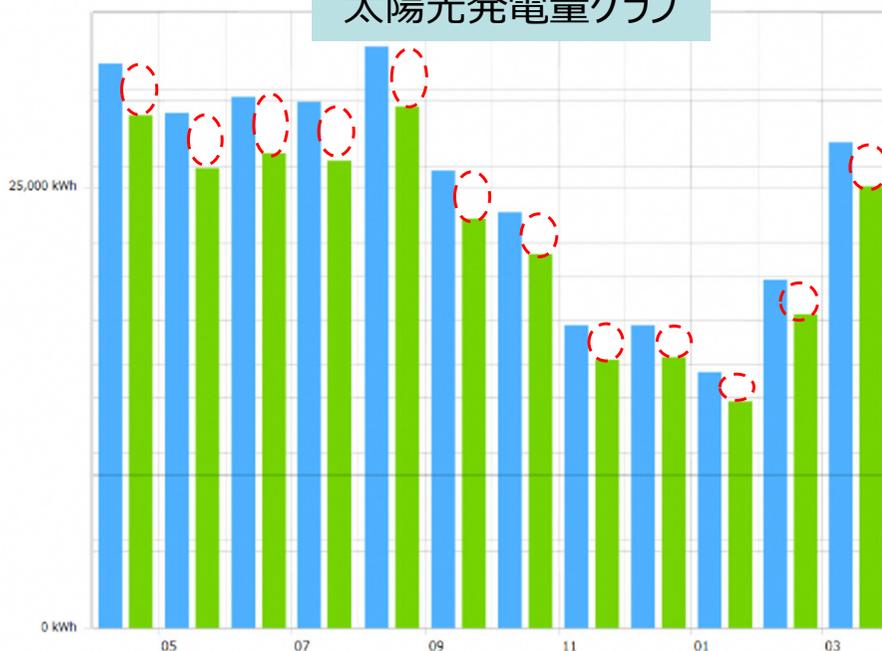


①蓄電池システムの導入

【目的】

- ①電力の安定供給
- ②ピークカットによる電力コストの削減
- ③エネルギー自給率の向上
- ④災害時の予備電力確保

太陽光発電量グラフ



青の棒グラフ⇒太陽光が出力した電力量
 緑の棒グラフ⇒パワコンが出力した電力量
 点線赤枠 ⇒ロス電力

逆潮流防止のために、本来なら使用できる電力の発電を**10%強**（約31,000kWh）セーブしている

② Jクレジットの創出

【目的】

- ① 地域社会への貢献
- ② 企業イメージの向上、PR
- ③ コスト削減

活用イメージ



顧客や取引先への
オフセット提供



地域イベントの
スポンサーシップ



販売による収益化

中長期的な目標設定

- 長期目標：2050年カーボンニュートラルの達成
- 中期目標：2030年CO2排出量**60%削減**（2021年比）

CN達成に向けたロードマップ

現在地



第1フェーズ

- ・更なる省エネの徹底
- ・取り組みのPR

第2フェーズ (2030年)

- ・蓄電池の導入
- ・Jクレジットの創出
- ・CN達成に向けた計画のブラッシュアップ

第3フェーズ (2050年)

- ・CNの達成